校長だより

ゆい 結

茨城県立結城特別支援学校

2026
VOL.5

日増しに秋が深まり、朝晩の冷え込みに冬の訪れを感じる季節となりました。学校内の木々も鮮やかに色づき、子どもたちは毎日元気に学校生活を送っています。
二学期も後半を迎え、児童生徒同士の関わりを深める「学部間交流」や、地域と連携した「コミュニティ・スクール」の取組など、多様な経験を通じて成長する姿がたくさん見られました。
「つながり」の中で育つ、笑顔と挑戦の秋です。



笑顔あふれる関わり　学部間・部活動交流

小学部１年生×高等部アグリ班「おいもほり」

高等部アグリ班と小学部１年生が一緒に芋ほりを行いました。お兄さんたちに手伝ってもらいながら土を掘ると、大きなサツマイモが次々と顔を出し、児童からは歓声が上がっていました。優しく声をかけながらサポートする高等部生の姿に、頼もしさを感じたひとときでした。





小学部３年生×中学部１年生「トイレットペーパー積みゲーム」

小学部と中学部の合同チームで「トイレットペーパー積みゲーム」に挑戦しました。小学部の児童が集中してペーパーを積み上げ、中学部の生徒が倒れないようにそっと手を添えたりアドバイスをしたりと、息の合ったチームワークが見られました。崩れそうになるたびに声を掛け合い、笑顔と拍手に包まれる温かい時間となりました。

小学部×サッカー部「サッカー体験」

サッカー部による体験会が行われ、小学部の子どもたちがサッカーに挑戦しました。先輩たちはボールの蹴り方を優しく教えたり、シュートが決まるようにアシストしたりと、一人一人に寄り添ったサポートをしてくれました。先輩たちへの憧れの気持ちが高まる素晴らしい機会となりました。





コミュニティ・スクール　リズム運動



コミュニティ・スクールの一環として外部からの専門講師をお招きし、「リズムに合わせた体づくり教室」を実施しました。アップテンポな音楽に合わせて、身体を動かす基本の動作（伸ばす・跳ぶ・バランスをとるなど）を楽しく教わりました。リズムに乗りながら自然と体をほぐし全身を使ってしっかりと動かすことで、子どもたちの表情も生き生きと輝いていました。今後も地域の方々や専門家の力を借りながら子どもたちの健やかな体づくりと豊かな体験の場を広げてまいります。